

ちくしのびと

chikushinobito 13

4年後の夢に向かって

筑陽学園高校で甲子園に出場

西館 昂汰 さん



Profile

平成13年6月9日生まれ。
身長187cm、体重83kg。最
高球速144km/h。吉木小学
校在学時に吉木オリオール
ズ(ソフトボール)、筑紫野
中学校在学時に二日市ボー
イズでプレー。4月からは
専修大学に進学。好きな野
球選手は松井 裕樹投手。

「もっと野球をしたかった」
そう話す西館さんは今、高校
を卒業し、新たな夢に向かっ
て進み出そうとしています。

昨年の夏、第101回全
国高校野球選手権大会(甲子
園)に出場した筑陽学園高
校。エースとしてチームを率
いた背番号1、西館 昂汰さ
んは市内吉木在住の「ちくし
のびと」です。

大会では初戦で平成28年の
優勝校、作新学院高校と対
戦。延長10回の激戦の末、惜
しくも敗れましたが、その巧
みで粘り強い投球術は大きな
インパクトを残しました。

中学生の時に所属していた
二日市ボーイズでエースとし
て活躍した西館さん。しかし
高校では、同学年の投手が活
躍する中、ベンチ入りもでき
ない日々が続きました。

それでも、西館さんは気持
ちを切らさず、ひたすら走り

込み、下半身を強化。コーチ
は「間違いない努力でこま
で来た選手。いつも走ってい
ましたよ」と目を細めます。

また、食が細い西館さんは
「二番しんどかった」という

一日5食の食事トレーニング
を敢行。調理師免許を持つ母
のサポートで、体重は入学時
から20kgも増加。安定した
制球力につながりました。「母
親のおかげ」と西館さんは照
れ臭そうに話します。

西館さんの努力は実を結び
ましたが、活躍の原動力はそ
れだけではありません。甲子
園に出場が決まると、地域の
皆さんが出場を祝う横断幕を
作成。写真のパネル展が開催

されるなど、地域が一体とな
り応援しています。西館さん
は「皆さんの期待が伝わって
くるので、頑張ろうという気
持ちになります」と話します。

この春、西館さんは専修大
学に進学し、野球を続けます。
4年間にかける思いを聞くと、
笑顔で答えてくれました。

「同世代の仲間には負けられ
ない。絶対プロになるつもり
で頑張ります!」



福岡大会で優勝し春夏連続
の甲子園出場を決めた瞬間